

5月31日  
発行

愛媛県立中央病院広報誌

2021年  
第51号

愛媛県立中央病院

# い 小春日和 はるびも

ご自由にお持ち帰りください



## よろしくお願ひします！



令和3年度は23名の研修医が当院より医師としての第一歩を踏み出します。みんなのフレッシュな**ハート**で患者さんを優しく包み込み、当院の理念「県民の安心の拠り所となる病院であること」を実現していきます。未永くよろしくお願ひいたします。

【発行】愛媛県立中央病院 松山市春日町83番地 TEL：089-947-1111



ホームページは  
こちらきゃん！



# 看護師集合写真



4月より、当院で患者さんの看護にあたっていらっしゃる新人看護師です。  
ぬくもりと愛のある質の高い看護を提供するため尽力いたしますので、末永くよろしくお祈りいたします。



## 県立中央病院のホームページをリニューアルしました！



▲トップページ当院 PR 動画のダイジェスト版が流れます

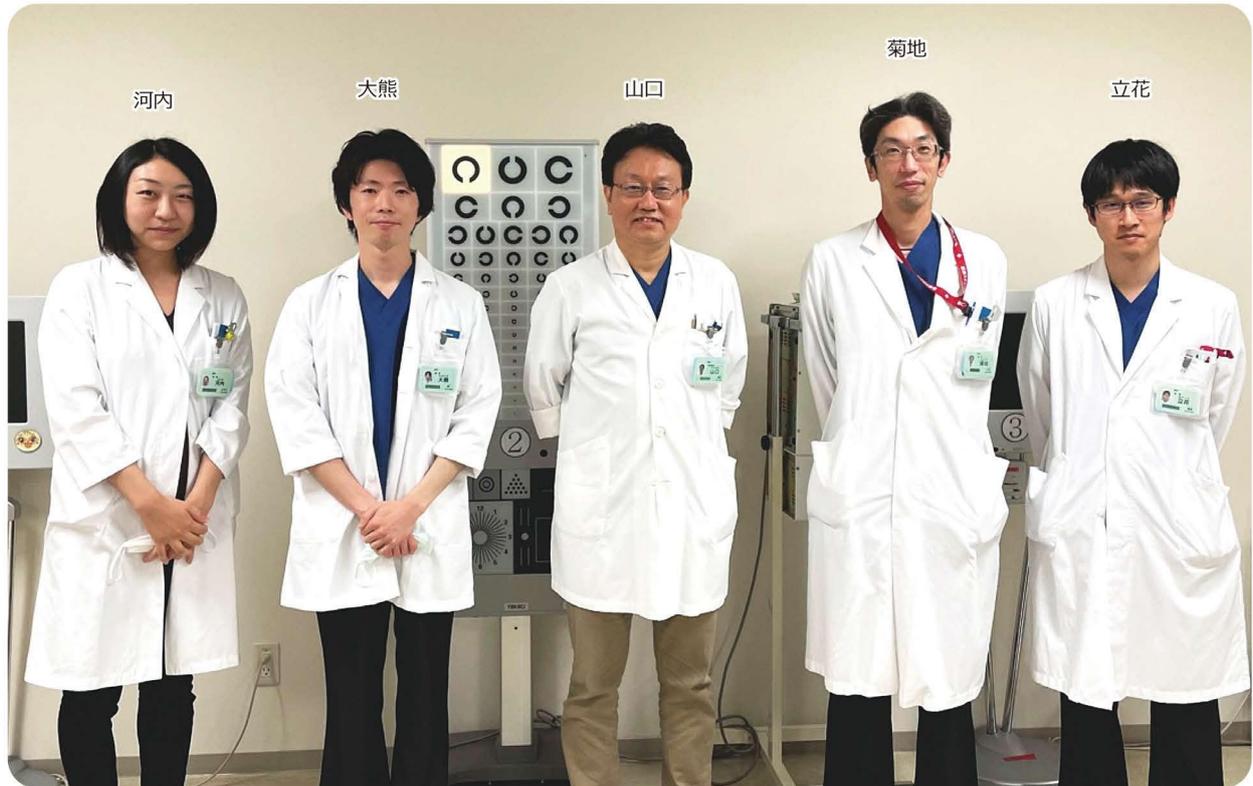


▲必要な情報を利用しやすく分類しています

### 見どころ紹介



- 見やすく親しみやすいデザインやサイト構成にしました。**  
 全体的なカラーを青に統一して爽やかなデザインにしています。また必要な情報を探しやすく、利用しやすいウェブサイトの構成にしています。
- スマートフォンでも見やすくなりました。**  
 これまではパソコンと同じ画面表示でしたが、スマートフォン画面に対応し、操作しやすい画面構成にしています。
- 病院PR動画を制作しました。**  
 患者さんやそのご家族、また当院の関係者の方々に、当院をより知っていただくため、病院PR動画を制作し、ホームページのトップ画面に掲載しました。ドクターヘリや救命ICU、手術支援ロボット「ダヴィンチ」、経カテーテル大動脈弁留置術「TAVI」など様々なものを紹介しています。フルバージョンについては、病院動画一覧に掲載していますので是非ご覧ください。



当科は、白内障（974件）、緑内障（43件）、網膜剥離などの網膜疾患（251件）の手術治療を中心に、近隣のクリニックと密に連携を図りながら、常勤医師5名、非常勤医師1名で診療を行っています【（ ）内は2019年手術件数】。

当科の性質上、手術治療は入院がほとんどで、95%以上を占めています。白内障は手術日前後を含めて片眼2泊3日で行い、緑内障や網膜疾患においても4～10日程度での退院をめどに、短期間のうちに視力回復が得られるよう低侵襲の手術を目指しています。また、糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症、加齢黄斑変性などに対する抗VEGF薬※などをを用いた硝子体注射療法を外来で行っており、2019年は796件実施しました。これらの疾患は年々増加しており、今後もますます需要が高まる治療であると予測されます。そのほかにも、ドライアイ、角膜感染症、結膜炎、結膜弛緩症、翼状片など、眼の表面の疾患に対しても専門的な診療を行っています。

今後とも皆さんに安心して治療をまかせていただけるよう、努めて参ります。

※抗VEGF（vascular endothelial growth factor）薬

血管内皮成長因子に対する抗体。新生血管の成長を妨げて病気を落ち着かせる。

## 眼科顕微鏡手術の進歩

眼という非常に小さくて精密な臓器を手術するため、当科では、眼科手術顕微鏡、白内障手術装置、網膜硝子体手術装置といった様々な機器を導入し、医師も日々研鑽を積みながら、知識と技術のアップデートに励んでいます。



▲手術顕微鏡を用いた手術の様子

当院の  
ドクターを  
紹介します

## ドクターズカルテ

腎臓内科 <sup>むらかみ</sup> 村上 <sup>たいち</sup> 太一先生  
Doctor



▲腎臓内科外来診察室にて（写真中央）

腎臓内科の村上太一と申します。四国中央市出身です。2000年に徳島大学医学部を卒業し、同大学腎臓内科で臨床や研究、教育に携わってきましたが、2019年4月より当院腎臓内科で勤務しております。これまでの経験を活かして、腎臓病患者さんの診療や研修医教育に取り組みながら、少しでも愛媛県の医療に貢献していきたいと考えております。

趣味は、体を動かすこと（水泳、テニス等）やスポーツ観戦で、特に野球観戦が好きです。仕事や新型コロナウイルスの影響でままならないことも多いですが、ワーク・ライフ・バランスを保ちながら、仕事に集中していきたいです。どうぞよろしくお願いたします。



▲息子と一緒に野球観戦



当院の  
研修医を  
紹介します

Resident

2年次研修医  
<sup>さいとう</sup> 齋藤 <sup>みえい</sup> 美瑛先生

### 興味関心のあることは何ですか？

大学時代に独学で身に付けた動画編集技術を駆使し、友人の結婚式の動画や当院の研修医募集動画など、依頼を受けて制作しています。働き始めてからは編集ソフトやPCにこだわり、よりレベルの高い編集技術を手に入れることができました。いつかは、ドローンを使った空撮にも挑戦したいです。

### 長所は何ですか？

好きなことに打ち込むときの集中力と、表裏のないあっさりとした性格、風邪を引かないところです。

### 今後の目標は何ですか？

2年目になり、ずっと夢だったドクターヘリ研修をさせていただきました。将来の専門分野はまだ決まっていませんが、例えば、目の前で人が倒れてもサッと駆けつけて適切な応急処置ができるような、どっしり構えたドクターになりたいです。



▲研修医室にて



▲動画制作に欠かせない大切な道具たち



▲左から機長、フライトナース、自分、フライトドクター





▲入院サポートセンタースタッフ

入院サポートセンターは、安心・安全な入院医療の提供と治療に専念できる療養生活が送れるようにお手伝いする場所です。

当院は高度医療を提供する急性期病院として、1日に約50人の入院患者さんを受け入れています。2015年4月に手術を受けられる患者さんを対象とした『術前サポートセンター』を開設し、2016年10月に術前サポートセンターの体制と機能を充実・強化し、入院される患者さんを対象とした『入院サポートセンター』になりました（現在は一部診療科のみを対象としていますが、今後段階的に拡大しすべての入院患者さんを支援する予定です）。

センター内には、説明室（個室）、麻酔科診察室、お薬確認カウンター、入院受付カウンターなどを併設しており、入院・手術に必要な説明や手続きが1カ所で受けられるため、患者さんをご家族の皆さんが利用しやすいくなっています。

また、「入院時に複雑な手続は必要なの?」、「手術までの療養生活はどんな感じなの?」といった不安や心配事を担当看護師に相談できる環境を整えており、入院や手術に関する丁寧な説明を行うことで不安を少しでも解消し、スムーズに治療に入れるようにお手伝いしています。

お薬については、事前に薬剤師と面談し、入院・手術前に休薬すべきお薬はないかなどをチェックします。また、手術を控えている患者さんには、既往歴や併存疾患の十分な把握に努め、麻酔科医師を中心とした多職種によるチェック体制を構築することで、周術期の安全管理に寄与していきます。

入院サポートセンタースタッフ一同は、入院される患者さんをご家族を全力でサポートしていきます。

診療棟 2階





## 転入・転出医師 (2021.3.2 ~ 2021.5.1)

### 転入

所属	氏名	専門
救急科	山本 陽介	救急一般、集中治療
救急科	竹内 龍之介	救急一般、集中治療
救急科	中城 晴喜	救急一般、集中治療
麻酔科	五藤 凌志	専攻医
産婦人科	今井 統	産婦人科一般
産婦人科	井上 唯	産婦人科一般
産婦人科	伊藤 恭	専攻医
産婦人科	市川 瑠璃子	専攻医
新生児内科	加藤 美幸	専攻医
小児科	河邊 美香	小児一般
小児科	今井 剛	小児血液・がん、小児一般・保健
小児科	森谷 友造	小児循環器、小児一般・保健
消化器内科	川村 智恵	消化器疾患(特に消化管疾患)
消化器内科	田中 孝明	消化器疾患(特に肝臓疾患、肝癌)
消化器内科	北畑 翔吾	消化器疾患
消化器内科	和泉 翔太	専攻医
消化器外科	花岡 潤	肝胆膵外科、内視鏡外科
消化器外科	石川 大地	消化器外科全般
消化器外科	徳田 和憲	消化器外科全般
消化器外科	高木 健次	消化器外科全般
消化器外科	稲荷 真愛	専攻医
消化器外科	川本 貴康	専攻医
消化器外科	石村 菜穂	専攻医
消化器外科	松木 ひかり	専攻医
呼吸器内科	濱田 徹	呼吸器全般
呼吸器内科	能津 昌平	呼吸器全般
呼吸器外科	木谷 聡一郎	呼吸器外科
血液内科	兵頭 和樹	血液全般
放射線科	西山 香子	画像診断全般、心臓核医学
放射線科	横井 敬弘	画像診断全般
放射線科	赤坂 匠	専攻医
放射線科	竹田 紫織	専攻医
腎臓内科	高橋 謙作	腎臓疾患全般、血液浄化療法
泌尿器科	中西 茂雄	泌尿器一般
泌尿器科	宗宮 快	泌尿器一般
糖尿病・内分泌内科	北田 遼佑	糖尿病・内分泌代謝疾患
脳神経内科	久保 仁	脳神経内科一般
脳神経外科	草川 あかり	専攻医
循環器内科	風谷 卓郎	循環器全般
循環器内科	岡部 光	循環器全般
整形外科	松坂 隆範	整形外科一般、関節外科
整形外科	石村 大樹	専攻医
整形外科	三好 翔太	専攻医
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	木村 拓也	耳鼻咽喉科一般
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	細川 裕貴	耳鼻咽喉科一般
眼科	立花 亮祐	白内障、眼科一般
眼科	河内 さゆり	白内障、眼科一般
形成外科・顎顔面外科	川浪 和子	外傷、腫瘍
形成外科・顎顔面外科	伊藤 綾美	形成外科一般
皮膚科	土居 千晃	専攻医
総合診療科	越智 麻理絵	内科一般
内科	肥山 隆一郎	専攻医

### 転出

所属	氏名
麻酔科	高石 和 (副院長)
消化器内科	道堯 浩二郎 (副院長)
救急科	濱見 原 (センター長)
救急科	二宮 鴻介
麻酔科	上松 敬吾
麻酔科	濱田 泰輔
産婦人科	越智 良文
産婦人科	秋定 幸
産婦人科	恩地 裕史
小児科	平井 洋生
小児科	中野 威史
小児科	柏木 孝介
消化器内科	宮田 英樹
消化器内科	森 健一郎
消化器内科	岩崎 竜一郎
消化器内科	大西 慶
消化器内科	村上 大晟
消化器外科	岩橋 衆一
消化器外科	本庄 真彦
呼吸器外科	安達 剛弘
血液内科	宮崎 幸大
放射線科	小岩原 元
放射線科	福山 直紀
放射線科	徳増 明文
放射線科	河内 義弘
腎臓内科	綿谷 博雪
泌尿器科	宇都宮 聖也
泌尿器科	大久保 玲奈
心臓外科	薦田 宗則
整形外科	石丸 泰光
整形外科	星川 遥
整形外科	萬代 雄嗣
耳鼻咽喉科	相原 葉
形成外科・顎顔面外科	徳永 和代
形成外科・顎顔面外科	田中 克弥
形成外科・顎顔面外科	土居 未歩
皮膚科	桑折 信重
漢方内科	角藤 裕
内科	大野 広貴
外科	疋田 貴大
外科	溜尾 美咲
消化器内科	丸井 香織

## 医療現場を総合的にサポートします 株式会社ホスネット・ジャパン

私たちの会社は、診療や治療に必要な診療材料をはじめとする院内使用物品を管理し、的確に院内の各部署へ供給する業務（SPD：Supply Processing and Distribution）を行っています。

また、SPD業務のほかに薬剤部補助業務、検査部補助業務といった病院スタッフのサポートや院内での検体や書類の搬送なども行って、医療現場で医師や看護師さんたちが患者さんに適切な医療を提供できるよう、サポートしています。

現在、スタッフは薬剤部門と診療材料部門を合わせて総勢40名で業務に当たっており、今後もSPD業務を通じて、病院を利用される患者さんや関係する全ての方々に、安心と安全を提供できるように取り組んでいきます。



▲SPD 倉庫での  
ピッキング

▲薬品搬送



▲手術センター内クリーン  
サプライ室でのピッキング

▲調剤補助



医療現場を  
サポートする  
ぎゃん♡

## 体をリラックスさせ、バランスを整えよう!!

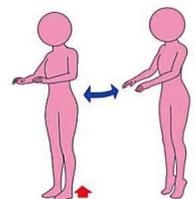


風薫るすがすがしい季節になりました。

5月の誕生花を知っていますか？スズランですよ。スズランの花言葉は「再び幸せが訪れる」です。早くそうなるといいですね。しかし、まだまだ新型コロナウイルス感染症は収束せず、ワクチン接種待ちで、不安としんどい思いをしている方がたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。不要不急の外出を避けると言われ続けて、ストレスも大きく、本当に運動不足になっている方が多いと思います。当院でも外来に来られた患者さんが転倒する事例が数件発生しています。体が緊張していると、転びやすくなりますよ。運動不足はもちろん問題ですが、精神的ストレスは、じわっと体の不調を招きます。言葉が荒くなったり、イライラしたり、不満ばかりが増えたり、人間関係に影響を及ぼしてしまうなどいいことはありません。

そこで体をリラックスさせて、なおかつバランスを保つ簡単な体操をご紹介します。

- ①立位で、手をダランと下げて手先をブラ・ブラ・ブラっと2～3分。
- ②つま先立ちでバランスの強化。ふらつく方は、最初何か支えを持ってするといいですよ。
- ③座って、深呼吸。空気を吐き出すことに力を入れて!!吐き切ったら新鮮な空気を一杯吸いましょう。
- ④物を持つときは小指を意識する。



以上ですが、これはテレビで紹介されたこともあるものです。実際にやってみると、体の調子がとてもいいです。歩く姿勢も良くなって、少々の荷物も苦にならなくなりました。気持ちも前向きになりやすいように思います。とりあえずやってみましょう。

ストレスや、転倒等で生活の質を落とさないようにしましょう(^.^♪



# 連携医療機関紹介 ～第22回～

## 医療法人 整形外科つばさクリニック

- 所在地 松山市南江戸4丁目3-45
- TEL 089-925-2839 ■FAX 089-925-0778
- HP <https://tsubasa-clinic.com>
- 診療科目 整形外科・リハビリテーション科
- 外来診療時間 休診日 水曜午後・土曜

初診受付については午前の部は9:00～12:00まで、午後の部は15:00～18:00までとさせていただきます。

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～13:00 (受付は9:00～12:30)	○	○	○	○	○	×	△
15:00～19:00 (受付は15:00～18:30)	○	○	×	○	○	×	△

※日曜・祝祭日の診療は不定期ですので、必ず当院ホームページの診療カレンダーをご参照ください。

【病院の概要】当院は、2007年9月に松山総合公園南側に位置する新空港通り沿いの松山市南江戸に開院しました。レントゲンやMRI検査・超音波検査を用いて、より素早く、よりの確な診断を行い、治療に役立てています。また膝関節と肩関節専門の非常勤医師による専門外来も行っています。

【病院の特徴】一般整形外科はもちろんスポーツ外来についても元サッカー日本代表チームドクター、現J2リーグ愛媛FC・J3リーグFC今治チームドクターの経験を生かし、専門的にを行います。患者さんの症状にあわせて、理学療法士による施術に加え、トレーニングを効果的に導入します。チーム練習への合流や試合に復帰するまでの継続的治療のサポートまで対応できる院内トレーニングルームを設けています。また、コミュニケーションを大切にしたいため、患者さんと直接関わる時間を少しでも長くとれるように電子カルテを導入し、メディカルクラークを採用するなど効率化を図っています。



## 医療法人 日野内科・消化器科

- 所在地 松山市余戸東5丁目2-5
- TEL 089-968-8181 ■FAX 089-968-8301
- 診療科目 内科・消化器科
- 外来診療時間 休診日 木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	×
14:00～18:00	○	○	○	×	○	×	×

【病院の概要】当院は、松山市の西南に位置し、坊っちゃんスタジアムの北西、余戸駅から徒歩7分ほどのところにあります。2001年に開業し、今年で20周年を迎えました。

【病院の特徴】消化器、特に肝臓の専門医としての診療と、地域に密着したかかりつけ医としての診療（かぜ、高血圧、糖尿病など）を中心に、何でも相談できる開業医を目指しています。

また、CT・MRI等の検査など、より専門的な検査や治療が必要な時は、県立中央病院をはじめ基幹病院との速やかな連携を図っており、今後も患者さんが納得できる正確な診療に努めていきたいと思っています。



当院は、2010年10月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けています。

このコーナーでは、紹介・逆紹介によって連携している医療機関を随時ご紹介させていただきます。

(紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。)

